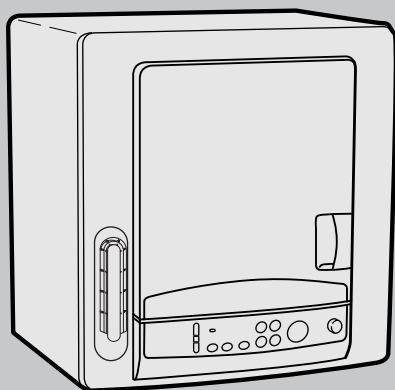
取扱説明書

日立除湿形電気衣類乾燥機

形名

DE-N5CX/DE-N4CX

あとは着るだけ

日立衣類乾燥機

このたびは日立除湿形電気衣類乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

特長

（☞ のあとの数字は主な説明のあるページです）

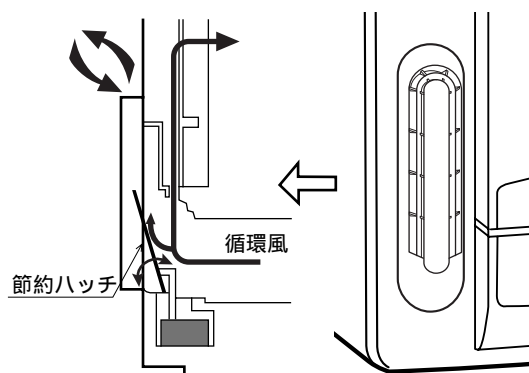
衣類に合わせて乾燥方式が選べる

1 ヒータ＆風の2way乾燥

☞ 17

省エネ・省時間で乾燥できる

2 自動開閉　節約ハッチ

☞ 14〜15

アイロン掛けするときや干す前にしわとりしたいときに便利

3「アイロン」「干す前」コース

☞ 16、32〜33

ドラム停止でやさしく乾燥する

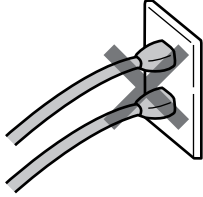
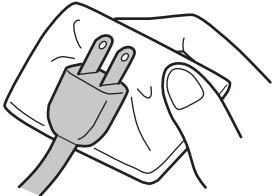
4「ズック」「セーター」乾燥コース

☞ 24〜31

もくじ

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

★ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

● お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保存してください。

⚠ 警告

分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

● 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

電源

定格15A以上のコンセントを単独で使う

● 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

清掃

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく

● 火災の原因になります。

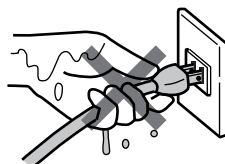
水場禁止

浴室や風雨にさらされる場所など、湿気の多い場所には据え付けない

● 感電・火災・故障・変形の恐れがあります。

⚠ 警　告

電源

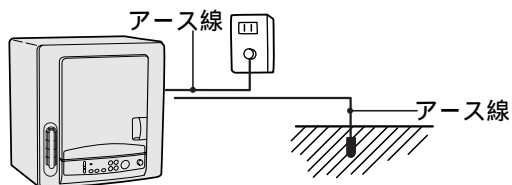
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない

● 感電やけがをすることがあります。

注意

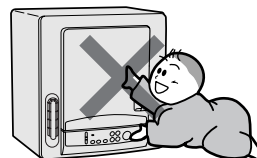
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

● 感電・ショート・発火の原因になります。

アース接続

アース線は必ず取り付ける

● アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。

禁止

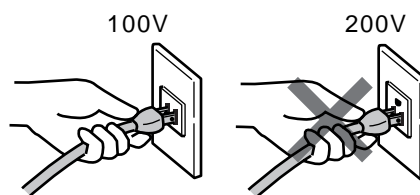
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

● やけど、感電、けがをする恐れがあります。

禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない

● 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁止

交流100V以外では使用しない

● 火災・感電の原因になります。

動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に、必ず点検・修理を依頼する

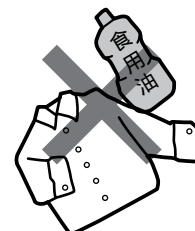
● 感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

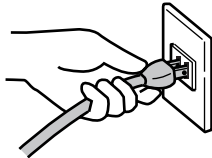
禁止

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリン、美容オイル、軟膏剤などの付着した衣類、ズック、帽子などは洗濯後でも絶対に乾燥しない
また、スポンジの入ったものも絶対に乾燥しない

● 油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。

安全上のご注意（続き）

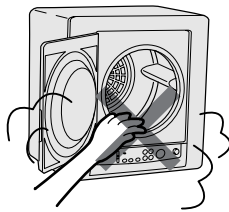
⚠ 注　意

注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

● 感電やショートして発火することがあります。

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

● 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

運転が終わってから衣類、ズックなどを取り出す

● 乾燥中はドラム、衣類やズックなど、ドアの内側が高温になっており、やけどをする恐れがあります。

スタンド(ユニット台)に載せて使用の際は、壁のすぐ前に設置し、鎖(スタンド台に付属)にて壁や柱につないで、乾燥機本体はスタンド(ユニット台)にねじで固定するまた、据え付けた乾燥機にぶらさがらない

● 本体の落下によりけがをすることがあります。

禁止

本体やドラムに水をかけたり、水洗いをしない

● 感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

禁止

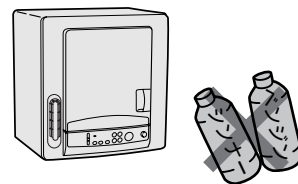
しずくのたれるような衣類、ズックなどを入れない

● 感電の恐れがあります。

金属粉、金属片は衣類、ズックなどから取り除く

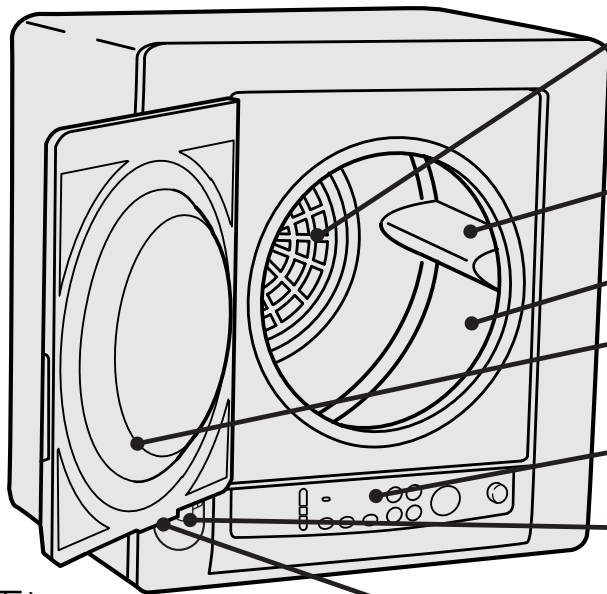
● 感電の恐れがあります。

禁止

運転中はベンジン、シンナー、ガソリンなどの引火物を近づけない

● 火災の原因になります。

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す

● 手・指が巻き込まれて、けがをしたり、高温の衣類が飛び出して火傷する恐れがあります。

各部のなまえ

糸くずフィルター
- 使用ごとに掃除してください。

☞38、39

リフタ

ドラム

ドア

ドアを開けると運転が止まります。

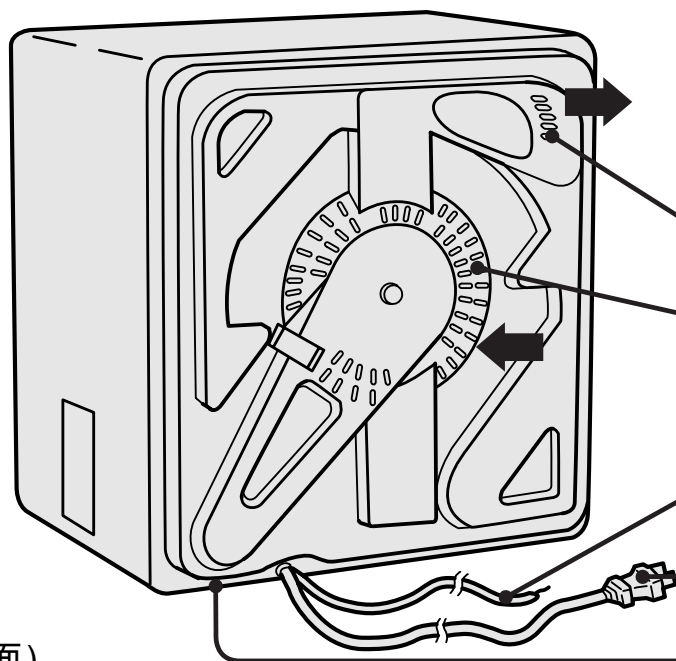
操作パネル

☞8～9

節約ハッチ

☞14～15

磁石

ドアのこの部分に磁石が内蔵されています。磁気カード(キャッシュカードなど)を近づけないでください。カードが使えなくなることがあります。また、磁力により、金属片がこの部分に付くと運転しないことがあります。その場合は、金属片を取り除いてください。

（前面）

排気口

吸気口

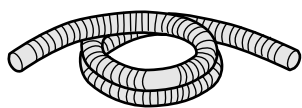
アース線

☞41

電源プラグ

排水ホース接続口

☞43

（後面）

排水ホース
（長さ約1.5m、1本）

ホースクランプ
（1個）

ホースクリップ
（1個）

操作パネルのはたらき

進行表示

乾燥の進み具合をランプの点滅でお知らせします。
- 運転を一時停止したとき、ドアを開けたときは点灯になります。

乾燥中 ▼ あと10分（乾燥中のランプ点滅）
- 湿度センサーが衣類の量および質を検知しながらの温風運転中。

乾燥中 ▼ あと10分（あと10分のランプ点滅）
- 衣類や本体を冷ますための送風運転中
- 「除菌(75℃)」コース以外は残り時間約5分(「干す前」は約3分)で「あと10分」のランプが点滅します。
- ハッチを開けない状態(☞15)にしたときは「標準」「仕上げ」「アイロン」「毛布」も残り約10分で「あと10分」のランプが点滅します。

おこのみ(コース切換)ボタン

5種類のコースが選べます。☞11
- ボタンを押すごとに、コースが切り換わります。
- 「除菌(75℃)」コースは自動的にヒーターの強さが「強」になります。
- 「毛布」コースは自動的にヒーターの強さが「弱」になります。
- 「ズック」、「セーター(100分)」コースは乾き具合に関係なく所定の時間運転します。またヒーターは自動的に「弱」に設定されます。
- 運転をスタートすると、コースの切り換えはできません。

進行表示 乾燥中 ▼ あと10分 節約ハッチ開 フィルター目づまり 強 弱 除菌 (75℃) 毛布 ズック セーター (100分) 干す前 ふんわりガード ヒーター おこのみ

節約ハッチ開表示

節約ハッチの開いているときをランプの点灯でお知らせします。
- ランプが消灯しているときは節約ハッチが閉じています。
- 節約ハッチを開けない設定にすることもできます。☞15

フィルター目づまりサイン

フィルターの目づまりをランプの点滅でお知らせします。
- ランプが点滅したときは、必ずフィルターを掃除してください。
  ☞38、39
- ランプが点滅中にドアを開けると、5秒間ブザーが鳴り、ランプが消えます。
- 「干す前」、「ズック」、「セーター(100分)」、「風乾燥」コースのときは働きません。

フィルター目づまり

ふんわりガードボタン

「ふんわりガード」は、乾燥が終了して2時間の間、約5分ごとに12秒の送風運転を繰り返して、衣類のふんわり感を保つ機能です。☞13
- 「干す前」、「ズック」、「セーター(100分)」、「風乾燥」コースのときは、ふんわりガード運転は行いません。
- ボタンを押すとランプの消灯、点灯が切り換わります。
  運転を省きたいときはランプを消します。
  運転したいときはランプをつけます。

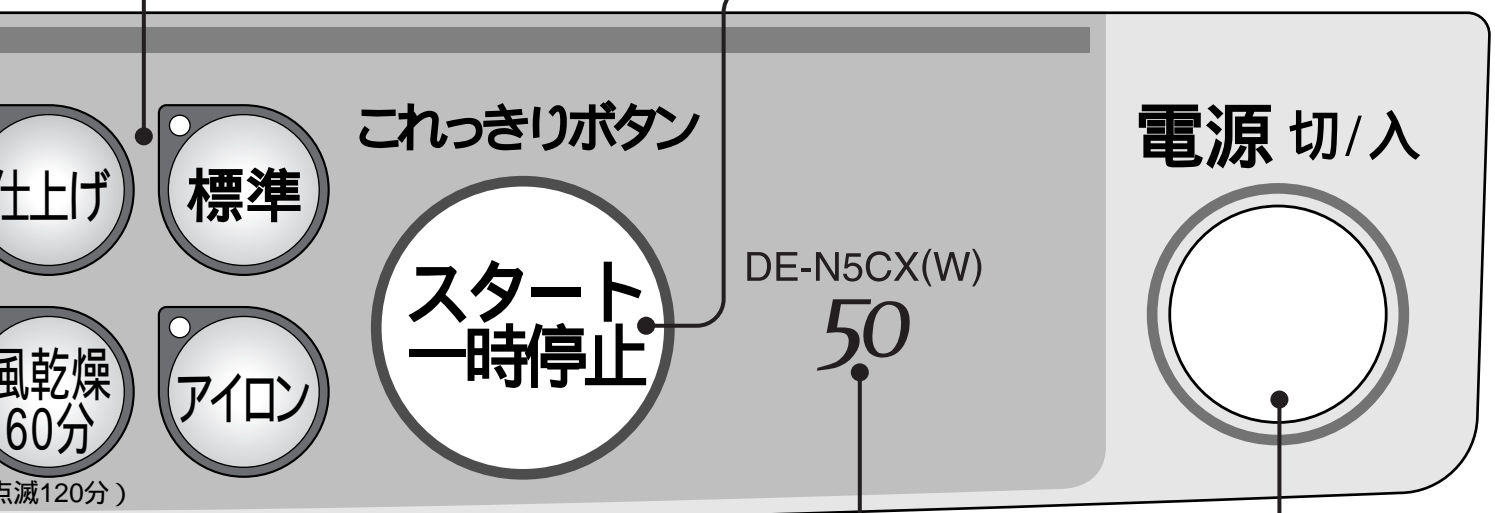
終了ブザーを鳴らしたくないときは
電源を入れ、スタートボタンを3秒以上押すと終了ブザーは鳴りません。 再び3秒以上押すと、元どおり鳴ります。(運転中は設定できません)

終了ブザーは運転が止まってしばらく(15秒以内)たってから鳴りだします。

ダイレクトセレクトコースボタン

4種類のコースが選べます。☞10
- 選んだコースのランプが点灯します。
  「風乾燥60分」「風乾燥120分」コースの切り換えは、「風乾燥」ボタンを押すごとに切り換わります。「ランプ点灯」で60分、「ランプ点滅」で120分運転します。
- 各コースはメモリー機能が付いており、電源を入れると前回運転したコースのランプが点灯します。

スタート／一時停止ボタン

ダイレクトセレクトコースボタン、おこのみ(コース切換)ボタンで選んだコースで運転するときや一時停止させるときに使います。☞13
- 運転途中でドアを開けたときは運転が止まります。運転を続ける場合には、再度ドアを閉め、スタートボタンを押してください。
- 「ズック」「セーター(100分)」コースを選択したときは運転開始時に受付音が2回鳴ります。
  (一時停止で再スタートしたときは1回鳴ります)

図はDE-N5CX形の場合を示します。
(W)は本体色を示しています。

ヒーター切換ボタン

ボタンを押すごとに、ヒーターの強さが切り換わります。☞35
- 「強」、「弱」 のランプが消えているときは、送風運転になります。
- 運転をスタートすると、途中でヒーターの切り換えはできません。
- 「強」、「弱」はメモリー機能が付いており、電源を入れると前回運転した方のランプが点灯します。

電源スイッチ

スイッチを押すと「入」になります。
- 「乾燥」運転または「ふんわりガード」運転が終わったときや、「入」のままにしておくと、5分後に自動的に電源が切れます。(オートオフ機能)
- フィルター目づまりサインのランプが点滅しているときは、12時間後まで切れません。
- 「入」にしたとき、フィルター目づまりサインのランプが点滅しブザーが鳴った場合は、フィルターが目づまりしていないか再度確かめてください。☞38、39

前回ご使用時にフィルターが目づまりした場合、掃除しても電源スイッチを「入」にしたとき、再度確認のためフィルター目づまりサインのランプが点滅し、ブザーが鳴ります。

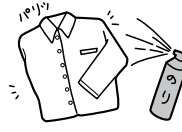
- 「風乾燥」コースでは、「強」「弱」のランプが消えています。
- 「風乾燥60分」「除菌(75°C)」、「ヒーター」の強、「ふんわりガード」の運転有りを設定したとき2回続けて受け付け音がします。(基準点をお知らせするためです)

乾燥時注意が必要な衣類について

乾燥してはいけないもの

皮製品

●縮みが大きくなったり形くずれの恐れがあります。

のり付けした衣類

●糸くずフィルターの目づまりの原因になります。

「セーター(100分)」コースを使えば乾燥できるもの

下記のものは「セーター(100分)」コースで運転してください。 ☞28

● 「セーター(100分)」コースを使用しないで、その他のコースで乾燥すると衣類の縮みが大きくなったり、傷んだりする恐れがあります。

吊り干し、平干し表示のあるもの

「タンブラー乾燥禁止」表示のあるもの

「タンブラー乾燥」とは回転ドラム式乾燥機で乾燥することです。

ご注意

●素材によっては乾燥できないものもあります。(乾燥の前に確認してください☞28)

運転コースの選びかた

ダイレクトセレクトコースでの乾燥

コース	内容	参照
標　準	普通に乾燥するとき **普通の衣類、厚物・薄物衣類などの乾燥に使います。** ●衣類の質と量を検知して、乾燥します。	☞12
仕上げ	吊り干し後の生乾きやしめっぽい衣類を仕上げ乾燥するとき **普通の衣類、厚物・薄物衣類などの乾燥に使います。**	☞14
アイロン	アイロン掛けに適した乾燥をしたいとき **同類の素材のワイシャツ、ブラウスなどの乾燥に使います。** ●運転はアイロン掛けに適した少し湿り気のある状態で終了します。	☞16
風乾燥	熱に弱い衣類、縮みやすい衣類を乾燥したいとき ●風乾燥運転を定時間(60分/120分)行います。	☞17

「おこのみ」コースでの乾燥

コース	内容	参照ページ
除　菌 (75℃)	**洗濯物の除菌効果を高めたいとき** **乾燥終了時に温風温度を高く(約75℃)保って、洗濯物の除菌効果を高めます。** **(ダニ・大腸菌など)** ●ヒーターは自動的に「強」になります。 **ご注意** ●衣類の種類により、縮みが大きくなることがあります。 ●室温が約5℃以下のときは、自動的にヒーター「弱」で運転され除菌効果が低下することがあります。	☞20
毛　布	**毛布・肌掛けふとんを乾燥するとき** ●ヒーターは自動的に「弱」になります。	☞22
ズック	**ズックなどを乾燥するとき** **「ズック」コースを選択すると、ズック、帽子、スリッパなども乾燥できます。** ●乾き具合に関係なく約100分間運転します。 ●ヒーターは自動的に「弱」になります。 **ご注意** ●熱に弱いプラスチックや皮製品は乾燥しないでください。 ●乾燥できないズックもありますので乾燥の前によく確認してください。	☞24
「セーター(100分)」	**セーターやカーディガンなどを乾燥するとき** ●乾き具合に関係なく約100分間運転します。 ●乾燥できる重さの目安 約250g程度のセーター、カーディガンなど ●ヒーターは自動的に「弱」になります。 **ご注意** ●運転終了後、洗濯物を入れたままにしないでください。しわの原因になります。	☞28
干す前	**吊り干しする洗濯物の脱水後のしわをとりたいとき** ●衣類の量に関係なく10分間運転します。(ヒーター「弱」設定時は15分間運転) **ご注意** ●運転終了後、洗濯物を入れたままにしないでください。故障の原因になります。	☞30

洗濯機で脱水した衣類を乾燥する

普通の衣類、厚物、薄物の衣類などを乾燥するとき

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる

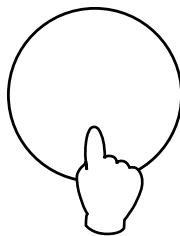
ご注意

- ドアに洗濯物をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 洗濯物は一枚ずつ広げてください。

2 電源スイッチを入れる

3 「標準」コースのボタンを押す

洗濯物を入れる前に

⚠ 警　告

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリン、美容オイル、軟膏剤などの付着した衣類は洗濯後でも絶対に乾燥しない。
また、スポンジの入ったものも絶対に乾燥しない。

- 油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。

- 洗濯後でも油が残り、油の酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。また、プラスチック部品の変形などの故障の恐れがあります。

(「標準」コース)

4 スタートボタンを押す

これっきりボタン

ご注意

- 運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、本体や衣類が熱いことをお知らせします。
- 節約ハッチは運転の途中で自動的に開きます。☞14

5 乾燥が終わったら衣類を取り出す

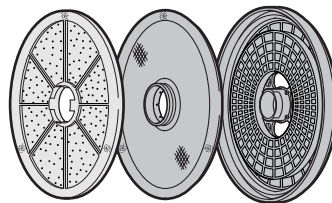
乾いたら終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。また「ふんわりガード」が設定されている場合は、自動的に「ふんわりガード」運転に入ります。「ふんわりガード」運転中は、いつでも衣類を取り出せます。静電気が気になるときは☞36

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

お手入れ

糸くずフィルターを掃除する。
☞38、39

⚠ 注　意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

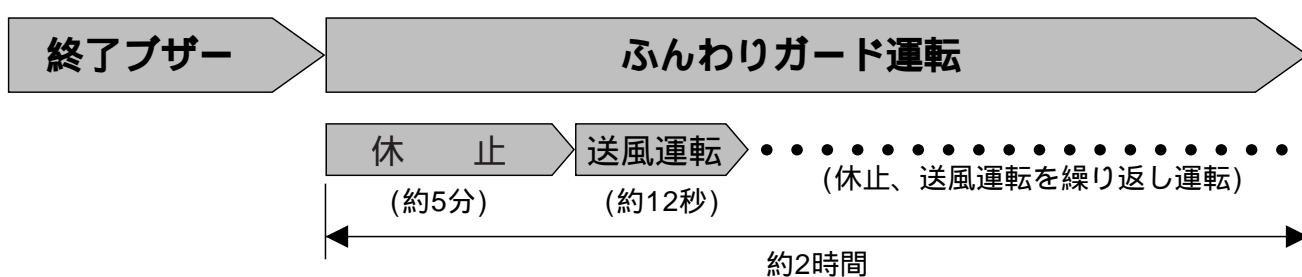
ふんわりガード運転について

「風乾燥」、「干す前」、「ズック」、「セーター(100分)」コースのときは、ふんわりガード運転は行いません。

終了ブザーが鳴り終わったら、自動的に「ふんわりガード」運転に入ります。
(「ふんわりガード」のランプが点滅します)
＊「ふんわりガード」のランプが消えているときは、「ふんわりガード」運転は行われません。

終了ブザー → ふんわりガード運転

休　止 (約5分) → 送風運転 (約12秒) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●
(休止、送風運転を繰り返し運転)

約2時間

「ふんわりガード」運転中にドアを開けると、運転は終了します。

使いかた

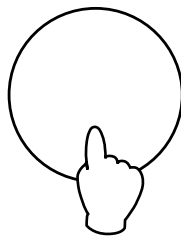
吊り干しした衣類を仕上げ乾燥する

吊り干し後の生乾きやしめっぽい衣類を仕上げ乾燥するとき

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる

ご注意

- ドアに洗濯物をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 洗濯物は一枚ずつ広げてください。

2 電源スイッチを入れる

3 「サッと仕上げ」コースのボタンを押す

「節約ハッチ」について

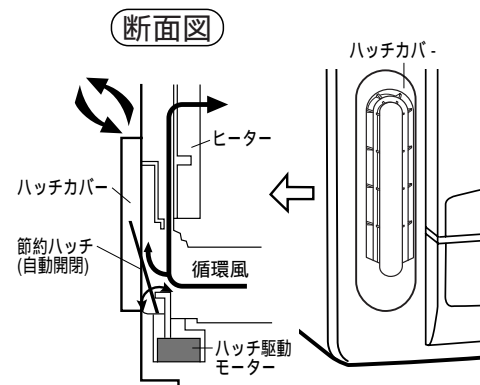
「節約ハッチ」とは？

節約ハッチとは、ハッチカバーの内側にある自動開閉するふたのことです。
この節約ハッチが開くことで、ドラム内の空気を、外の乾いた空気と入れ換えながら効率よく運転するので早く乾きます。
節約ハッチは運転の途中で自動的に開きますが、開くタイミングはコースや乾燥する衣類の湿り具合により異なります。
節約ハッチは運転が終了すると自動的に閉まります。

- **「干す前」「除菌(75℃)」コースでは節約ハッチは開きません。**

断面図

各コースでの節約ハッチの動作

ダイレクトセレクトコース			「おこのみ」コース		
コース名	節約ハッチ		コース名	節約ハッチ	
	開	閉		開	閉
標準	○	●	除菌(75℃)	ー	ー
仕上げ	□	●	毛布	○	●
アイロン	○	●	ズック	□	●
風乾燥	□	●	セーター(100分)	□	●
			干す前	ー	ー

○：センサー検知で開きます
□：初期送風30秒後に開きます
●：仕上げ送風終了後に閉じます
ー：動作しません

(「仕上げ」コース)

ご注意
- 洗濯機で脱水した衣類をそのまま乾燥するときは「標準」コース(☞**12**)で運転してください。湿気の排出量が増えて窓などに結露することがあります。またハッチカバー表面に結露し、しずくがたれる場合があります。

4 スタートボタンを押す

これっきりボタン

ご注意
- 運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、本体や衣類が熱いことをお知らせします。
- 節約ハッチは運転の途中で自動的に開きます。☞**14**

5 乾燥が終わったら衣類を取り出す

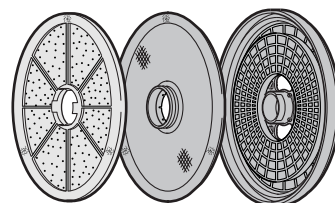
乾いたら終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。また「ふんわりガード」が設定されている場合は、自動的に「ふんわりガード」運転に入ります。「ふんわりガード」運転中は、いつでも衣類を取り出せます。
静電気が気になるときは☞36

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

お手入れ

糸くずフィルターを掃除する。
☞**38、39**

⚠ 注　意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

「節約ハッチ」を開けたくないときは?

節約ハッチを開けると、湿気を含んだ温風がハッチカバーから出ます。温風を出したくない場合は、節約ハッチを開けない設定にすることもできます。電源スイッチを入れたあと、おこのみ(コース切換)ボタンを3秒以上押すと、節約ハッチが風乾燥コース以外のコースで開かない状態になります。この内容はメモリーされて電源を切って次に運転するときも同じ内容が続きます。解除したいときは、再度おこのみ(コース切換)ボタンを3秒以上押すと元の状態に戻ります。

- **節約ハッチを開けない設定にしたときは、おこのみ(コース切換)ボタンを押して3秒後に受付音がピーと長く鳴ります。また、開けない設定を解除したときは、おこのみ(コース切換)ボタンを押して3秒後に受付音がピッと短く鳴ります。**

ご注意
- **節約ハッチが開いているときは、ハッチカバーから温風が出ていますので、顔や手を近づけないように注意してください。**
  またハッチカバーの表面(温風吹出口)に水滴が付くことがありますが、これは衣類の水分が蒸発して付着したもので故障ではありません。
- 節約ハッチ（自動開閉）は製品の内部にあります。外部にあるハッチカバーは開きませんので、無理な力を加えないでください。
- 風乾燥コースでは「節約ハッチを開けない」設定にしても、節約ハッチが開きます。

アイロン掛けに適した乾燥をする(「アイロン」コース)

ワイシャツなどあとでアイロン掛けをするとき

- **操作の手順は「標準」「仕上げ」コースと同様です。**
- **運転はアイロン掛けに適した少し湿り気のある状態で終了します。**

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる

ご注意

- ドアに洗濯物をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 洗濯物は一枚ずつ広げてください。

2 電源スイッチを入れ、「アイロン」のボタンを押す

電源 切/入

(点滅)120分

3 スタートボタンを押す

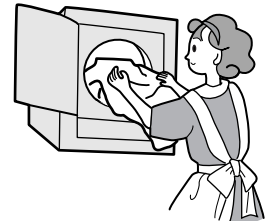
これっきりボタン

ご注意

- 運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、本体や衣類が熱いことをお知らせします。
- 節約ハッチは運転の途中で自動的に開きます。☞14

4 運転が終わったら

運転が終わったら終了ブザーが12秒間鳴り、運転終了をお知らせします。運転が終わったら、早めに衣類を取り出してください。

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

- 糸くずフィルターの掃除も忘れないでください。☞38、39

「アイロン」コースで乾燥できる衣類

●運転できる衣類の種類

綿100%のワイシャツ、ブラウスなど
混紡のワイシャツ、ブラウスなど
同類の素材をまとめて運転するようにしてください。

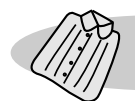
ご注意

違う素材の衣類を混ぜて運転すると、乾きすぎてしまう場合があります。

熱に弱い衣類を乾燥する(「風乾燥」コース)

熱に弱いデリケートな衣類などを乾燥するとき

- **乾燥できる衣類の量は1kg以下です。(化繊混紡)**
- **熱に弱い水着やウレタン素材が入った下着を、ヒーターを使わないで乾燥します。**
- **ヒーターを使わないので、省エネで乾燥できます。**

乾燥できるもの

- (　)内は1枚あたりの重さの目安です。洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって重さは変わります。
- ブラジャーやキャミソールなど、ひものついているものはネットに入れてください。

乾燥できる容量と乾燥時間の目安

単独衣類の場合(60分コース)

種　類	枚数と容量
ブラジャー	2枚(約160g)
キャミソール	2枚(約100g)

組み合わせ衣類の場合(120分コース)

種　類	枚数と容量
スカーフ ブラウス タイツ ブラジャー	2枚 2枚 2枚 2枚　(約560g)
ブラウス カットソー キャミソール	4枚 2枚 3枚　(約1kg)

ご注意

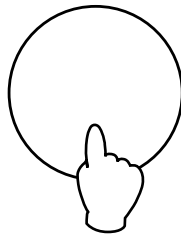
風による乾燥のため運転終了時の衣類は、季節や手の温度、設置条件により感触が変わります。
(乾燥していても衣類の温度が低く、乾いていないと感じる場合があります)

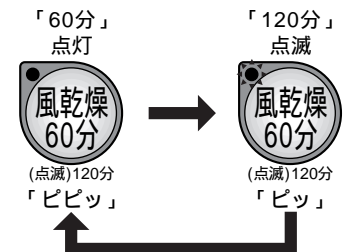
熱に弱い衣類を乾燥する

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる

ご注意

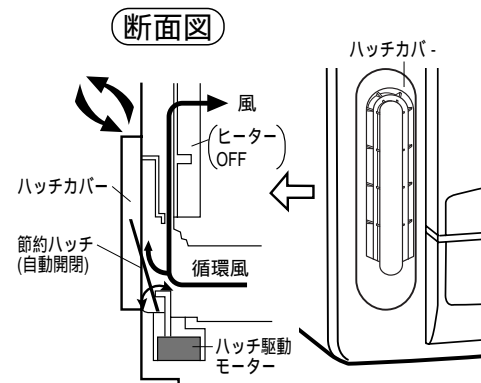
- ドアに洗濯物をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 洗濯物は一枚ずつ広げてください。

2 電源スイッチを入れる

3 「風乾燥」コースのボタンを押す

「風乾燥」コースのボタンを押すごとに、時間の設定が変わります。

「風乾燥」コースの運転内容

- **運転スタート後、約30秒で節約ハッチを自動的に開き、運転中ヒーターを使わないで設定時間運転します。**
- **ヒーターを使わず、節約ハッチを開いて外気を取り込んで衣類を乾燥させるので、熱に弱い衣類の乾燥におすすめです。**

ご注意

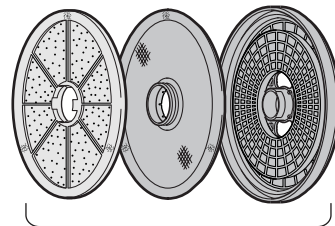
- **定時間運転するコースのため、衣類の乾きに関係なく終了します。**
  衣類の量・種類・気温・湿度・季節・設置環境によって乾燥不足になることがあります。乾きむらがあるときは再度「風乾燥60分」コースを運転してください。

(「風乾燥」コース)(続き)

4 スタートボタンを押す

ご注意

- 運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、ドラムが止まるまで手を入れないよう注意のためのお知らせをします。
- 節約ハッチは運転の途中で自動的に開きます。☞14

5 乾燥が終わったら衣類を取り出す

設定した時間が経過すると、終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。
静電気が気になるときは☞36

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

お手入れ

糸くずフィルターを掃除する。
☞38、39

⚠ 注　意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

使いかた

「風乾燥」コースの上手な使いかた

●乾燥できる衣類の量

化繊混紡の衣類の組み合わせで1kg以下。☞17

- **衣類の量が多い場合や、綿100%や綿の割合が多い混紡の衣類などは乾かないで終了することがあります。**

●薄物、傷み・からみやすいものはネットに入れてください。

●運転が終わったら早めに衣類を取り出してください。

●おすすめできない衣類

- **取扱絵表示に ヨワク がある衣類**
- **型くずれしやすい衣類**
- **皮革製品、皮革装飾品**

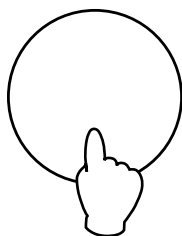
除菌効果を高めた乾燥をする

普通の衣類、厚物、薄物の衣類などを乾燥するとき

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる

ご注意

- ドアに洗濯物をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 洗濯物は一枚ずつ広げてください。

2 電源スイッチを入れる

3 「除菌(75℃)」コースを選ぶ

ヒーターは自動的に「強」になります。

「除菌(75℃)」コースについて

● コースの内容について

「除菌(75℃)」コースでは、乾燥運転終了時にドラム内の温風温度を高く(約75℃)保つことにより、衣類の除菌効果を高めた運転をするものです。

ご注意

- 衣類の量が多いときなど条件によっては、75℃まで温度が上がらない場合もあります。

(「除菌(75℃)」コース)

4 スタートボタンを押す

ご注意

- 運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、本体や衣類が熱いことをお知らせします。

5 乾燥が終わったら衣類を取り出す

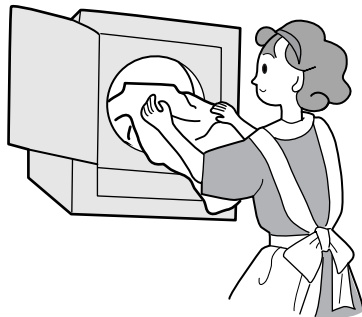
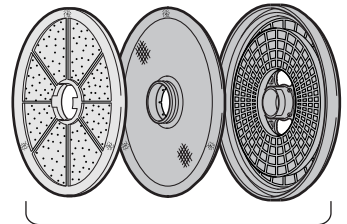
乾いたら終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。また「ふんわりガード」が設定されている場合は、自動的に「ふんわりガード」運転に入ります。「ふんわりガード」運転中は、いつでも衣類を取り出せます。
静電気が気になるときは ☞36

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

お手入れ

糸くずフィルターを掃除する。
☞ 38、39

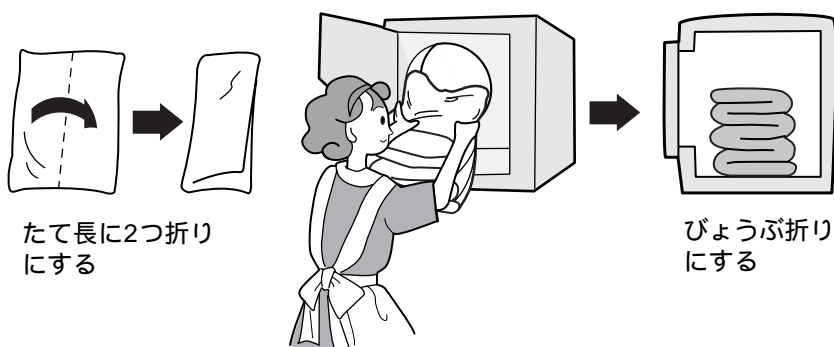
⚠ 注　意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

毛布、肌掛けふとんを乾燥する

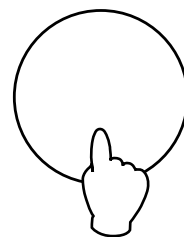
毛布、肌掛けふとんを乾燥するとき

1 毛布または肌掛けふとんをドラムに入れドアを閉じる

毛布または肌掛けふとんを2つ折りにし、びょうぶ折り状態にしてドラムに入れます。

お願い

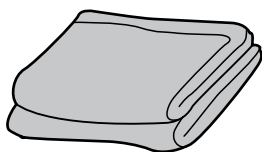
- 毛布または肌掛けふとんの洗濯時には、静電気の発生を防ぐため「ソフト仕上剤」を使い、脱水は十分に行ってください。
- 毛布、肌掛けふとんは、ねじったり丸めて入れないでください。しわになる恐れがあります。

2 電源スイッチを入れる

電源 切/入

乾燥できる毛布・肌掛けふとんの種類と重さ

毛　布

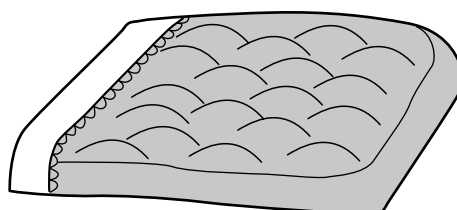
手洗イ と表示された、アクリル、またはポリエステル100%のシングルサイズのもの。

- 種類：マイヤー毛布、織毛物
- DE-N5CX
  ＊1枚の重さ：3.0kg以下
- DE-N4CX
  ＊1枚の重さ：2.6kg以下

ご注意

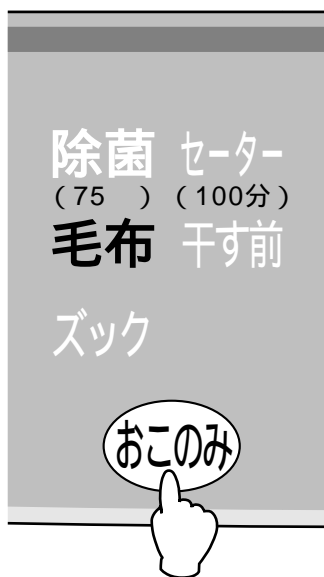
- 電気毛布は絶対に乾燥しないでください。
- 毛足が10mm以上のものは乾燥しないでください。

肌掛けふとん

手洗イ と表示された中わたがアクリル、またはポリエステル100%のシングルサイズのもの。

- 大きさ：150cm×210cm以下
- 中わた重量：0.6kg以下

（「毛布」コース）

3 「毛布」コースを選ぶ

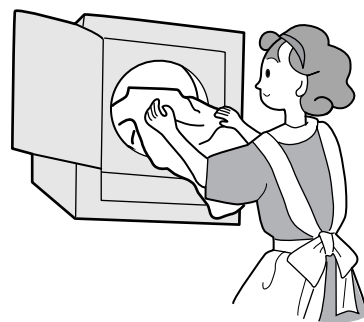
ヒーターは自動的に「弱」になります。

4 スタートボタンを押す

約2～3時間かかります。(時間は毛布、肌掛けふとんの状態により変わります)

ご注意

- 節約ハッチは運転の途中で自動的に開きます。☞14

5 乾燥が終わったら

早めに取り出してください。
新しい毛布の場合、少し毛が抜けてフィルターにたまることがありますが、毛布のむだ毛です。

⚠ 注　意

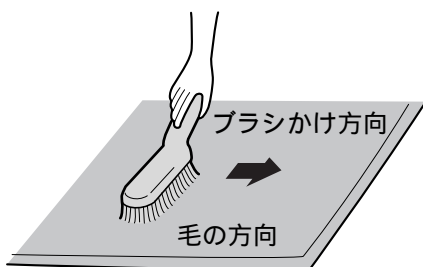
ドラムの回転が止まってから毛布、肌掛けふとんを取り出す。

- 糸くずフィルターの掃除も忘れないでください。☞38、39

使いかた

上手に仕上げるためのちょっとアドバイス

毛　布

- 乾きが足りないときは、反対側に2つ折りにして、もう一度乾かしてください。
- 毛布は乾燥後、毛布用ブラシで一定方向に軽くブラッシングして、毛並みを整えます。

肌掛けふとん

- 乾きが足りないときは、反対側に2つ折りにして、もう一度乾かしてください。
- 反対に折り返すときは、ふとんを両側からつまんでほぐすと、ふっくらと仕上がります。

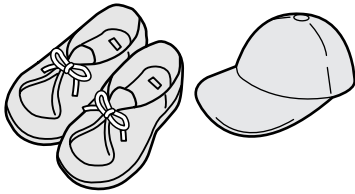
ズック、帽子などを乾燥する

いままで乾燥機でタンブラー乾燥できなかったズックや帽子などの小物をドラム停止による温風乾燥で簡単操作でやさしく乾燥します。
ただし素材によっては乾燥できないものもありますので、乾燥の前に十分確認してください。

(コースの内容 ☞ 26)

乾燥できるもの、できないものの確認

乾燥できるもの

- **ズック**
- **スリッパ**
- **綿、ウールなどの帽子**
- **ポリエステルなどのぬいぐるみ(約160g程度)**

- 乾燥できるズック、帽子などは1足(または1個)です。

ご注意

- 乾燥に際しては、ズックや帽子などの注意書きに従って乾燥してください。

乾燥できないもの

- **皮靴、皮革製品、皮革装飾品**
- **靴の表示(注意書き)に下記のような記載のあるもの**
  (例)
  - ・直射日光、ストーブなどでの乾燥はさけてください
- **特殊な機能や素材を使用しているもの**
  (例)
  - ・靴底などに特殊ガスなどを封入しているもの
  - ・ズックの熱に弱いウレタン製の中敷など
  - ・ランプ付きの靴

ズック、帽子などを入れる前に

⚠ 警　告

禁止

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリン、美容オイル、軟膏剤などの付着したズック、帽子などは洗濯後でも絶対に乾燥しない
また、スポンジの入ったものも絶対に乾燥しない

- 油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。

⚠ 注　意

しずくのたれるようなズック、帽子などを入れない

- 感電の恐れがあります。

金属粉、金属片はズック、帽子などから取り除く

- 感電の恐れがあります。

(「ズック」乾燥コース)

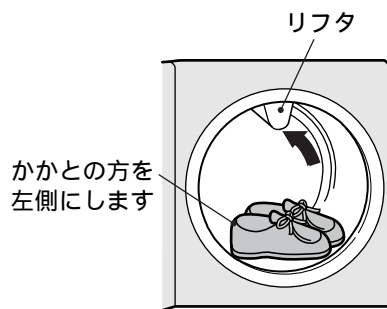
ご注意

- 「ズック」コースでは、運転中ドラムは回転しませんのでセーターなどのおしゃれ着を乾燥すると乾きむらを生ずることがあります。(セーターなどは「セーター(100分)」コース(☞ **28**)を使用してください)
- 「ズック」コースでは毛布や衣類などを乾燥しないでください。ドラム停止の温風乾燥のため毛布や衣類などが変色する場合があります。また乾きむらの原因になります。

乾燥物のセットのしかた

くつのとき

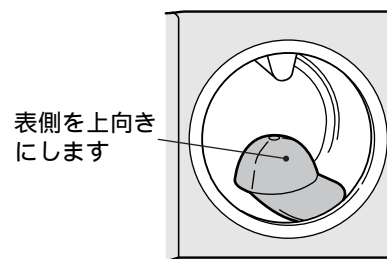
1 **乾燥の前に水分を十分に切っておく。**

2 **ドラム内にズックを下図のようにセットする。(温風はドラムの左側の方から出ています)**

ご注意

- リフタが下部にあってズックを入れにくいときは矢印の方向にリフタを手で押してドラムを回転させて、リフタを上部へ移動させてください。

帽子のとき

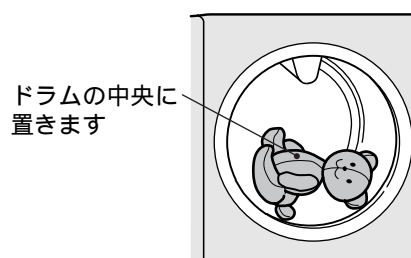
1 **乾燥の前に水分を十分に切っておく。**

2 **ドラム内に帽子を下図のようにセットする。**

ご注意

- 帽子の種類によっては型くずれしやすいものもあり、帽子の内側に乾いたタオルを入れて形を整えてから乾燥機に入れることをお勧めします。

ぬいぐるみのとき

1 **乾燥の前に水分を十分に切っておく。**

2 **ドラム内にぬいぐるみを下図のようにセットする。**

ご注意

- 装飾品は熱に弱いものがありますので取り外して乾燥してください。

ズック、帽子などを乾燥する

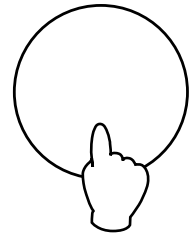
1 ズック、帽子をドラム内にセットしてドアを閉じる

ズック、帽子はきちんと水を切ってからドラム内にセットします。

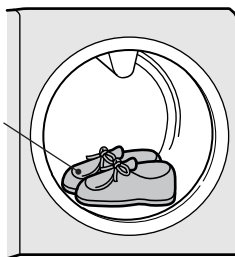
☞25

お願い

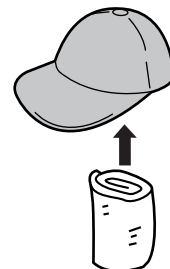
- ズック、帽子などは十分に水分を切ってからドラム内にセットしてください。
- 帽子は丸めて入れないでください。しわになる恐れがあります。

2 電源スイッチを入れる

上手に仕上げるためのちょっとアドバイス

乾きが足りないとき

- ズックの向きを最初と反対側にして(つま先を左側にして)「ズック」コースでもう一度乾かしてください。

- ぬいぐるみなども上下、左右の向きを逆にして「ズック」コースでもう一度乾かしてください。

帽子を上手に乾燥するには

- 乾燥機に入れる前に乾いたタオルを丸めて帽子の中に入れ、帽子の形を整えてから乾燥すると形くずれが少なくなります。

(「ズック」乾燥コース)(続き)

3 「ズック」コースを選ぶ

ヒーターは自動的に「弱」になります。

4 スタートボタンを押す

乾き具合に関係なく約100分間運転します。
「ズック」コースのときは運転開始時に受付音が2度鳴ります。(一時停止で再スタートしたときは1回鳴ります)

これっきりボタン

ご注意

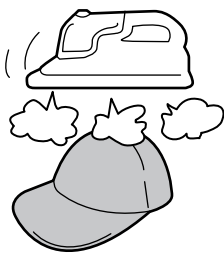
- 節約ハッチは運転の途中で自動的に開きます。☞14

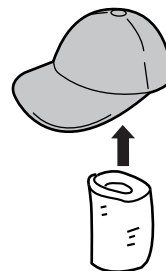
5 乾燥が終わったら

早めに取り出してください。

- 乾きが足りないときはもう一度運転してください。

帽子の仕上げ(縮みや形くずれしてしまったときの直しかた)

スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。

- スチームが手に直接当たると火傷する恐れがありますので取り扱いには十分注意してください。

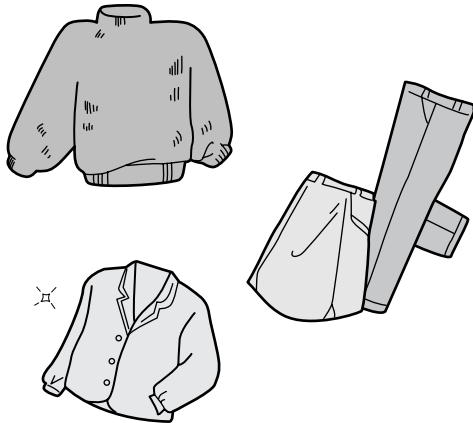
スチームをたっぷりあてたあと乾いたタオルを丸めて帽子の中に入れ、帽子の形を整えます。

乾いたタオルを丸めて
帽子の中に入れる。

セーター、カーディガンなどを乾燥する

いままで乾燥機でタンブラー乾燥できなかったセーターやカーディガンなどの衣類をドラム停止による乾燥と乾きムラを少なくするための短時間ドラム回転乾燥の組み合わせにより、簡単操作でやさしく乾燥します。ただし素材によっては乾燥できないものもありますので、乾燥の前に確認してください。(コースの内容は☞30)

乾燥できるもの、できないものの確認

乾燥できるもの

- **ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーター、カーディガン**
- **ウール、ウール混紡のスカートやスラックス**
- **麻、ポリエステルなどのブラウス、シャツ、スカート**
  ※ドライマーク付衣類でも上記のものは乾燥できます。

- 乾燥できる衣類の量は1枚です。
- 約400g以上の大物は乾燥しないでください。

乾燥できないもの

- **皮革製品、皮革装飾品**
- **装飾品(羽、毛皮など)のついた衣料**
- **レーヨン、キュプラおよびその混紡品**
- **和服、和装小物**
- **ネクタイ、スーツ、コート**
- **コーティング加工、樹脂加工(接着剤を使用したもの)、エンボス加工(凹凸模様)をしたもの**
- **絹の衣類**
- **ウールなどで強くよじった糸(強撚糸)を使用したもの(特に織り柄)**
- **ベルベット、コール天などのパイル地**

ご注意

- 取扱絵表示および素材表示のないものは、クリーニングに出すことをお勧めします。

乾燥できる重さの目安

「セーター(100分)」コース1回で乾燥できる重さの目安

約250g程度のセーター、カーディガンなど

ご注意

- セーターなどのおしゃれ着は、衣類の編みかたや素材によっては洗濯機で洗濯したあと縮んでいる場合があり、そのまま乾燥機にセットして「セーター」コースで乾燥するとさらに縮みが大きくなる場合があります。洗濯後の縮みが大きい場合には乾燥機での乾燥は避けてください。

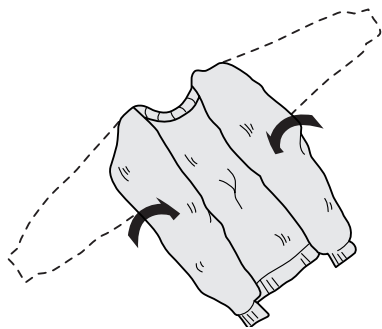
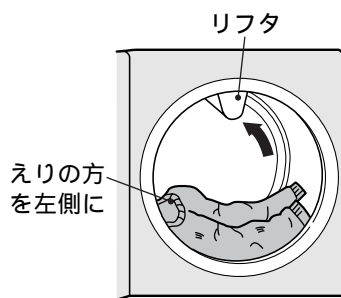
(「セーター(100分)」乾燥コース)

ご注意

- 「セーター(100分)」コースでは、運転の最後の方でドラムが回転しますので、ズック・帽子などのドラム回転で傷む恐れのあるものは乾燥しないでください。(ズック、帽子などは「ズック」コース(☞ **24**)を使用してください)
- 「セーター(100分)」コースでは毛布や2枚以上の衣類などを乾燥しないでください。ドラム停止の温風乾燥のため毛布や衣類などが変色する場合があります。また、乾きむらの原因になります。

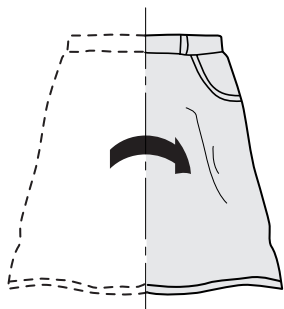
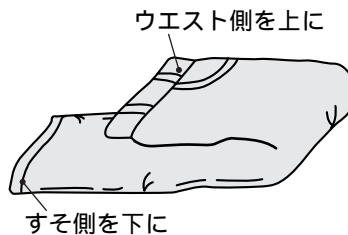
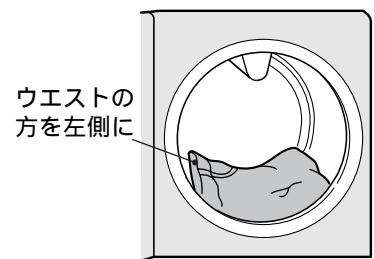
衣類のセットのしかた

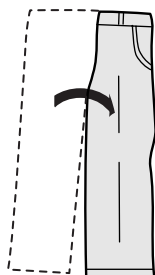
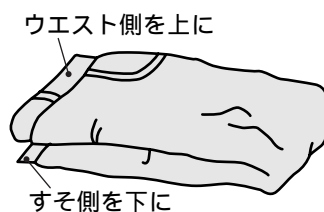
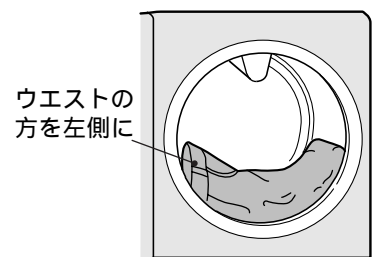
セーター、カーディガンのとき

1 **そでの部分を図のように折り返して畳む。**

2 **えりの方を左側に向けてドラム内にセットする。(温風はドラムの左側の方から出ています)**

ご注意

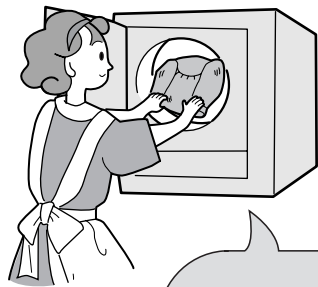
- リフタが下部にあって衣類が入れにくいときは矢印の方向にリフタを手で押してドラムを回転させて、リフタを上部へ移動させてください。

スカートのとき

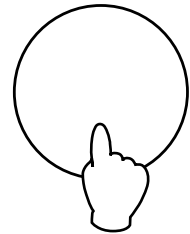
1 **幅の広いスカートのときは下図のように縦方向に2つ折りにして畳む。**

2 **ロングスカートのときはウエストのある方を上側にして2つ折りにする。重なる部分をできるだけ少なくする。**

3 **ウエストの方を左側に向けてドラム内にセットする。**

スラックスのとき

1 **おしりの継ぎ合わせ部分が折り目になるよう2つ折りにして畳む。**

2 **ウエストとポケットのある方を上側にして、2つ折りにする。**

3 **ウエストの方を左側に向けてドラム内にセットする。**

セーター、カーディガンなどを乾燥する

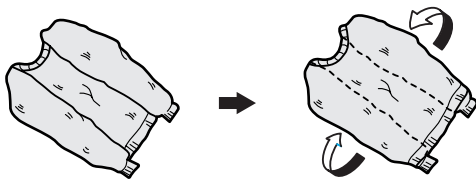
1 ドラム内に衣類をセットしてドアを閉じる

衣類はきちんとたたんでからドラム内にセットします。 ☞29

お願い

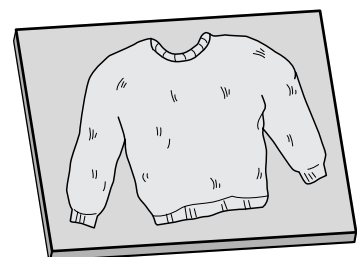
- 衣類は脱水を十分に行ってからドラム内にセットしてください。
- 衣類は丸めて入れないでください。しわになる恐れがあります。

2 電源スイッチを入れる

上手に仕上げるためのちょっとアドバイス

乾きが足りないとき

- その部分を最初と反対側に畳んで「セーター(100分)」コースでもう一度乾かしてください。

- スカートやスラックスなども反対側に畳んで「セーター(100分)」コースでもう一度乾かしてください。

ちょっと乾きが足りないとき

セーターの襟元など、ちょっとだけ乾きが足りないときは、広げて陰干しにする方法もあります。

(「セーター(100分)」乾燥コース)(続き)

3 「セーター(100分)」コースを選ぶ

ヒーターは自動的に「弱」になります。

4 スタートボタンを押す

乾き具合に関係なく約100分間運転します。
「セーター(100分)」コースのときは運転開始時に受付音が2度鳴ります。
(一時停止で再スタートしたときは1回鳴ります)

これっきりボタン

ご注意

- 節約ハッチは運転の途中で自動的に開きます。☞14

5 乾燥が終わったら

早めに取り出してください。

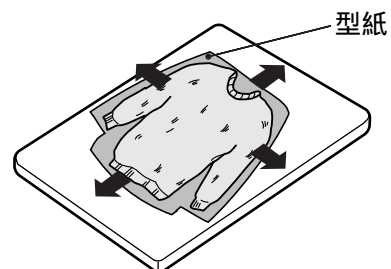
- 乾燥後ドラム内や衣類投入口に糸くずがつくことがありますがこれは衣類のむだ毛が取れたものです。掃除機などで取り除いてください。
- 乾きが足りないときは「セーター(100分)」コースにしてもう一度運転するか、アイロンで仕上げてください。

仕上げ(縮みや形くずれしてしまったときの直しかた)

スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。

- スチームが直接手に当たると火傷する恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。

スチームをたっぷりあてたあと、型紙に合わせて元の形までひっぱり、形を整えます。

- 洗濯前に型紙をとっておくと便利です。

吊り干し前に衣類のしわとり乾燥をする

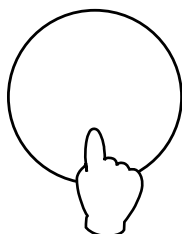
吊り干し前に洗濯じわをとりたいとき

●吊り干し前に洗濯・脱水によるしわを少なくする運転をします。

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる

ご注意

- ドアに洗濯物をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 洗濯物は一枚ずつ広げてください。

2 電源スイッチを入れる

3 「干す前」コースを選ぶ

「干す前」コースの上手な使いかた

●運転できる衣類の量

- **DE-N5CX：約3Kg以下での運転をお勧めします。**
- **DE-N4CX：約2.4Kg以下での運転をお勧めします。**

(衣類の量がこれより多いとしわとりの効果が少なくなります。)
洗濯じわの出やすい綿などの衣類が効果的です。

ご注意

次の場合、しわの原因となりますのでご注意ください。

- 洗濯、脱水終了後、衣類を放置しないでください。
- 「干す前」コース終了後、衣類を放置しないでください。

(「干す前」コース)

4 スタートボタンを押す

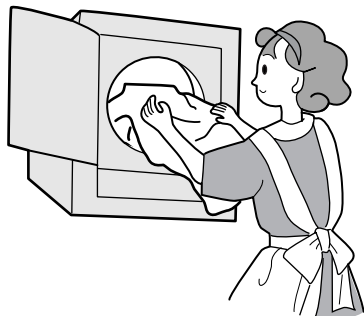
これっきりボタン

- ヒーター「強」設定時は10分間、「弱」設定時は15分間運転します。

ご注意

- 運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、本体や衣類が熱いことをお知らせします。

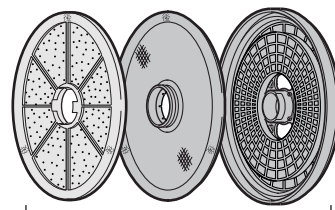
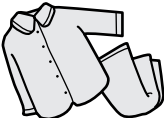
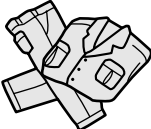
5 乾燥が終わったら衣類を取り出す

乾いたら終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。運転が終わったら、すぐに衣類を取り出して吊り干ししてください。

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

お手入れ

糸くずフィルターを掃除する。
☞ 38、39

⚠ 注　意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

乾燥量と時間の目安

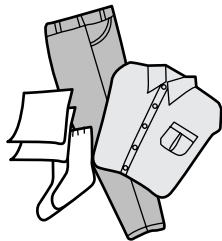
DE-N5CX 乾燥量・乾燥時間	DE-N5CX 枚数	衣類の種類と重さ	DE-N4CX 枚数	DE-N4CX 乾燥量・乾燥時間
	4足	ソックス (木綿　約 50g)	4足	
約1.6kg 約70分	4枚	ブリーフ (木綿　約 50g)	4枚	約1.6kg 約70分
	4枚	長袖アンダーシャツ (木綿　約150g)	4枚	
	3枚	ブラウス (混紡　約200g)	3枚	
約3 kg 約110分	2組	パジャマ(上下) (木綿　約500g)	2組	約3 kg 約110分
	2枚	ワイシャツ (混紡　約200g)	2枚	
	6枚	タオル (木綿　約 50g)	8枚	約4 kg 約130分
約5 kg 約150分	3枚	バスタオル (木綿　約300g)	2枚	
	1組	作業着(上下) (混紡　約800g)		

乾燥時間は洗濯物の種類、脱水のしかた、気温などで変わります。

- 上の表は、「白い約束」日立全自動電気洗濯機で洗濯したものを「標準」コースで乾燥したときの目安です。(室温20℃、ヒーター「強」、節約ハッチを開けた場合) 節約ハッチを開けない設定にしたときは、乾燥時間が長くなります。
- 乾燥時間は室温が1℃下がるごとに、約1分長くなります。
- 室温が約5℃以下のときは自動的にヒーター「弱」(表示は変わらず)で運転され、乾燥時間がさらに長くなることがあります。
- 大物(シーツなど)は、丸まったりして乾燥時間が長くなることがあります。
- しわを少なくするためには、標準乾燥容量(DE-N5CXは5.0kg/DE-N4CXは4.0kg)の半分ぐらいでの乾燥をお勧めします。または、ふんわりガード運転や乾燥が終わったら早めに取り出すことをお勧めします。

ヒーター切換ボタンの使いかた

強

普通の衣類

● 「除菌(75℃)」コースのときは自動的にヒーターが「強」になります。

弱

毛布、肌掛けふとんやデリケートな化繊の薄物など

● 「毛布」、「ズック」、「セーター(100分)」コースのときは自動的にヒーターが「弱」になります。

- **ダイレクトセレクトコース（「標準」「仕上げ」「アイロン」）と「干す前」コースはヒーター「強」「弱」のメモリー機能があり、電源を入れると前回運転した方のランプが点灯します。**
- **風乾燥コースではヒーター切換ボタンは受け付けません。**

衣類の縮みについて

衣類は水につけたり、洗濯して乾かすだけで縮むものがありますが、乾燥機を使用するとさらに縮みが大きくなるものもあります。

- 縮みの程度は1回目の洗濯・乾燥でほぼ決まります。

縮みやすいもの

サマーセーター

綿や麻のニット製品など

運動用ソックス

ポリウレタン混紡の製品など

縮みにくいもの

ワイシャツ

綿、混紡などの織物

ブラウス

ポリエステル製品など

- 縮みの程度は生地の種類や織りかた、縫製、仕上げなどによっても異なります。
- 縮みやすい衣類の例
  ・ウールや綿のセーターでリブ編みのもの

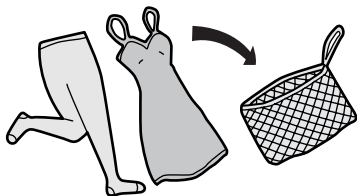
縮みについての上手な対応

- 乾燥前に衣類の絵表示・材質表示をよく確認します。
- 天日乾燥を上手に併用します。(例えば、天日乾燥したものの仕上げに乾燥機を使うなど)
- 「セーター(100分)」コース ☞ **28**を利用します。
- 「風乾燥」コース ☞ **17**を利用します。
- 縮みやすいものについては、できればあらかじめひと回り大きめの衣類のご購入をお勧めします。

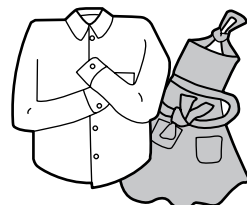
上手にお使いいただくために

布傷みや布がらみを少なくするには

薄物、傷み・からみやすいものはネットに入れる

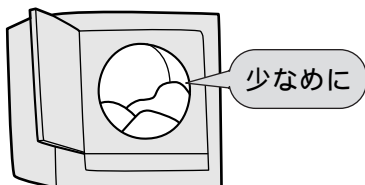
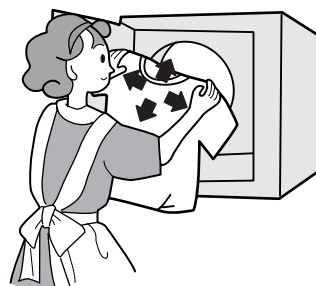
また、ひものついているブラジャーなどもネットに入れます。

● 布傷みや引っ掛かりを防ぎます。

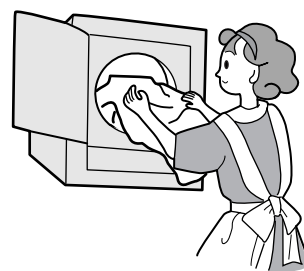
ファスナー・ボタンなどは、閉じて裏返す

エプロンなど、ひもの付いているものは結びます。またワイシャツなどは、そでのボタンを身ごろのボタン穴に止めます。

● 布傷み・布がらみ・たたき音が少なくなります。

しわを少なくするには

洗濯物は少なめで乾燥させる

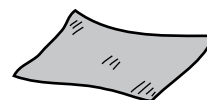
標準乾燥容量(DE-N5CXは5.0kg/DE-N4CXは4.0kg)の半分ぐらいにすると、しわが少なくなります。

1枚ずつよく広げてから入れる

乾燥が終わったら早めに取り出す

運転終了ブザーが鳴ったら、できるだけ早めに取り出します。

「ふんわりガード」運転中にドアを開けると、運転は終了します。

衣類の毛玉や静電気を少なくするには

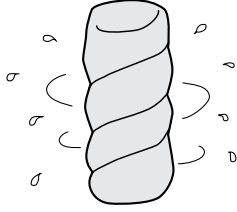
毛玉の気になるものは裏返しにする

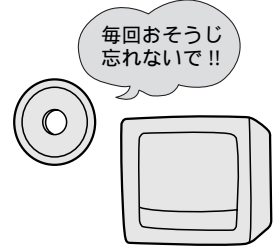
静電気防止用シートなどを使う

洗濯時に市販のソフト仕上剤、または乾燥時に市販の静電気防止用シートをご使用ください。

ソフト仕上剤　　**静電気防止用シート**

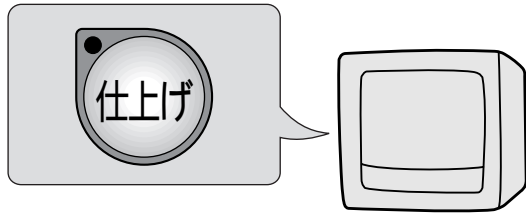
電気代を節約するには

乾燥の前に脱水を十分に行う

- 乾燥時間が短くなり、経済的です。
- 高速回転脱水の洗濯機と組み合わせてお使いになると、より経済的です。

糸くずフィルターを毎回掃除する

フィルターがつまっていると、運転時間が長くなります。ご使用前には、毎回掃除しましょう。

天日や室内で干したあとに「仕上げ」コースで運転する

☞14

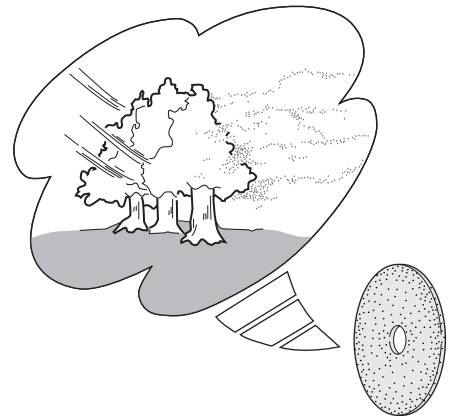
衣類をふんわり仕上げ、電気代も節約できます。

外に干した衣類に付着した花粉を取り除くには

別売りの静電フィルターを使用します ☞48

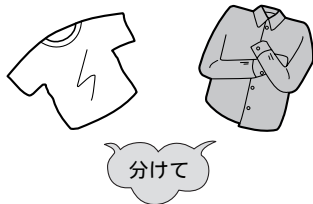
- 静電フィルターを取り付け、外で干した衣類を乾燥機に入れ、ヒーターを「弱」にして「仕上げ」コースで運転します。☞14

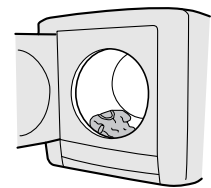
※静電フィルターの取り付けかたとお手入れのしかたは、静電フィルターの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 洗濯した衣類をそのまま乾燥するときには使用しないでください。乾燥時間が長くなります。また、静電フィルターの寿命を早めます。
- フィルターを絶対に水洗いしないでください。静電気の働きが弱くなります。

乾きむらを少なくするには

生地によって分けて乾燥する

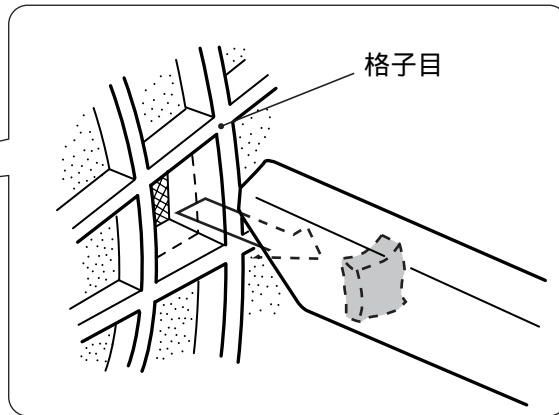
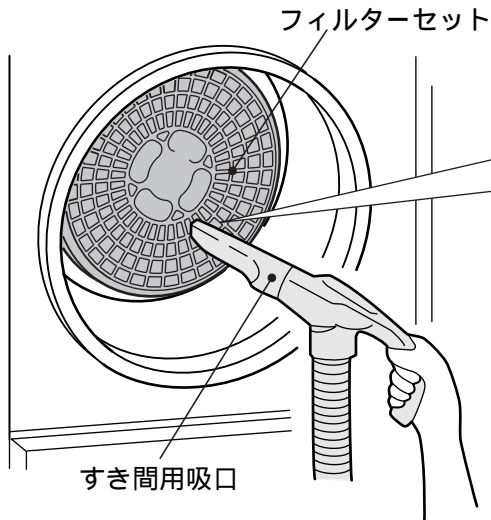
化繊と木綿、薄物と厚物などは、分けて乾燥させます。

- 乾きむらが少なくなり、再乾燥によるむだが省けます。乾きが足りないときは、「仕上げ」コースでもう一度乾燥させます。
- 混合して乾燥する場合は少なめにして乾燥してください。

洗濯物が極端に少ないとき(約500g以下)

- 洗濯物が極端に少ないときは乾きが足りないことがあります。
  乾いたタオルなどをいっしょに入れると乾きむらが少なくなります。
- 乾きが足りないときは、「仕上げ」コースでもう一度乾燥します。

お手入れのしかた

糸くずフィルター(簡単なお掃除)　ご使用後は必ずお掃除してください。

フィルターセットの格子目にたまった糸くずを、掃除機で吸い取ってください。

- フィルターセットをドラム内に取り付けたままでも、取り外してもお掃除できます。

- すき間用吸口で糸くずが取れにくいときは、延長管の先端などで吸い取ってください。

ご注意

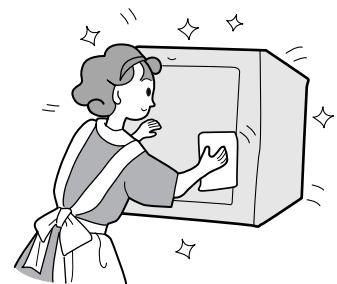
- 1か月(約30回)ごとにフィルターセットを取り外して、念入りにお掃除してください。(39) 目づまりしたまま使用すると、機体内部の温度が通常より高くなり、故障したり、機体内部にほこりがたまり、修理が必要になります。また、乾燥時間も長くなります。

本体

- 開梱時、プラスチック部品にほこりがついている場合がありますが、倉庫保管時についたものです。柔らかい布でふき取ってください。
  また、使用中についた汚れも柔らかい布でふき取ってください。

⚠ 注　意

禁止

本体やドラムに水をかけたり、水洗いをしない。
- 感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

- 吸気口、排気口にごみがつまったときは、掃除機などで吸い取ってください。

- ベンジン、シンナー、クレンザー、ワックス、弱アルカリ性洗剤などでふいたり、たわしでこすったりしないでください。塗装やプラスチック部品を傷めます。

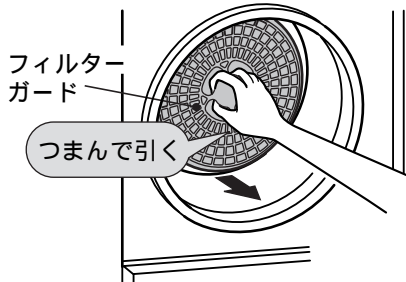
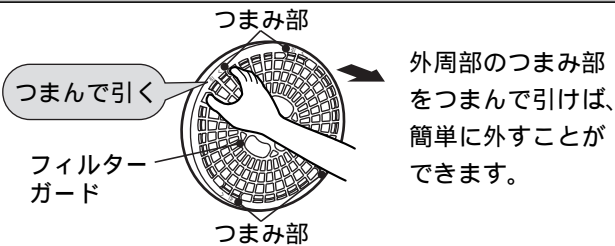
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

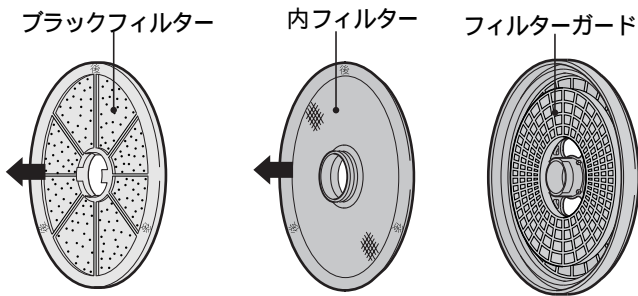
糸くずフィルター(念入りなお掃除)

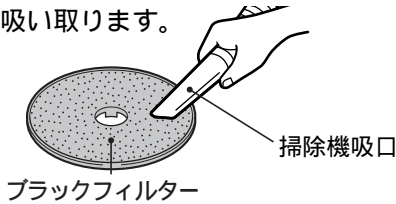
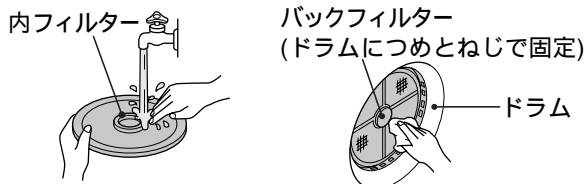
1か月(約30回)ごとに必ず念入りにお掃除してご使用ください。

1 フィルターセットを外す。

フィルターセットが外しにくい場合には

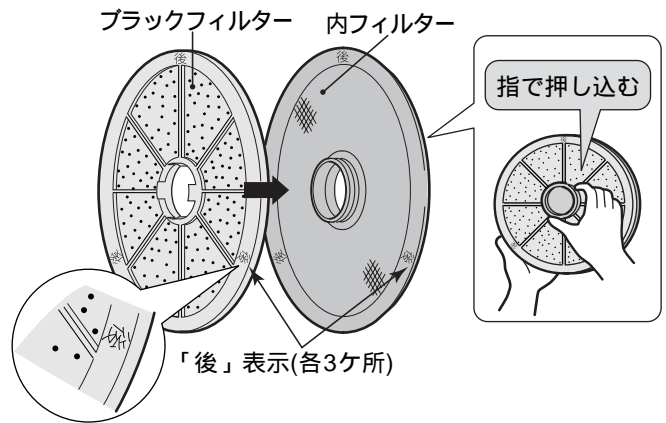
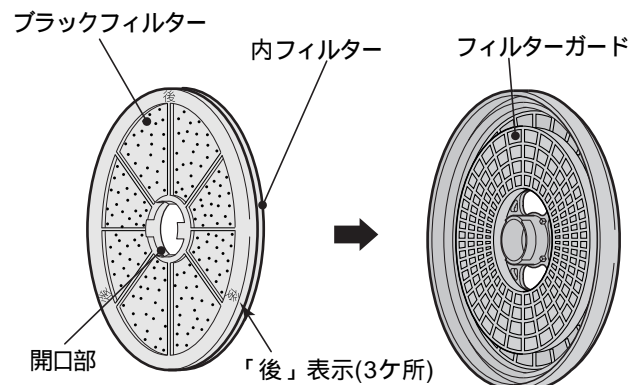
外周部のつまみ部をつまんで引けば、簡単に外すことができます。

2 フィルターガードと、フィルターを分離する。

- 内フィルターとブラックフィルターを外し、糸くずを捨てます。

3 フィルターを掃除する。

- ブラックフィルターに付いた糸くずを掃除機で吸い取ります。

内フィルター、バックフィルターが、粉状のほこりで目づまりしているとき

- 水道の水を流しながら、柔らかいブラシで表面をかるくこすって洗い、そのあと十分に乾かします。
- 水を湿らせた柔らかい布でふきます。

- フィルターガードの汚れが目立ってきたら、水洗いしてください。

4 元どおりに取り付ける。

- まずブラックフィルターを内フィルターへ、「後」の文字が見えるように取り付けます。

- ブラックフィルターを取り付けた内フィルターの開口部を、フィルターガード中央に合わせて取り付けます。

- フィルターセットをバックフィルターに取り付けます。

ご注意

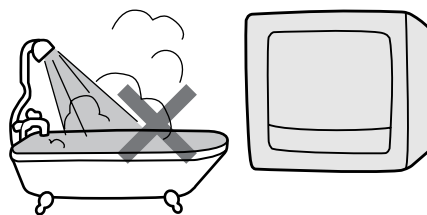
- フィルターは必ず元に戻してください。
- 目づまりしたまま使用すると、機体内部の温度が通常より高くなり、故障したり、機体内部にほこりがたまり、修理が必要になります。また乾燥時間も長くなります。

据え付け

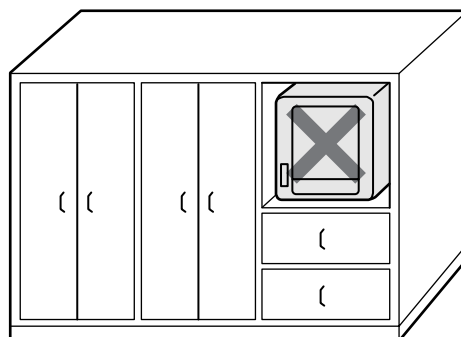
据え付け場所と換気

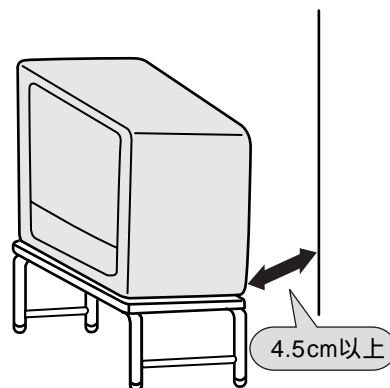
⚠ 警　告

水場禁止

浴室や風雨にさらされる場所など、湿気の多い場所には据え付けない。
- 感電・火災・故障・変形の恐れがあります。

■直射日光が当たる場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けないでください。
- 本体内部の温度が異常に高くなったり変形したりします。

■有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)を扱う場所では使用しないでください。
- 引火したりプラスチック部品が故障する恐れがあります。

■クローゼット(密閉した収納庫など)では使用しないでください。
- 温風で収納庫内の温度が上昇し、本体の温度が異常に高くなり、変形などの故障の原因になります。

■使用中は、近くの窓を開けるか、換気扇を回すなどをして換気をよくしてください。
- 除湿タイプですので湿気はあまり出ませんが、狭い部屋の場合などは湿度が上昇することがあります。また温風で室温が上昇します。

■本体は壁などからできるだけ離して設置してください。
壁や天井から両側面、背面、上面は4.5cm以上、下面は10cm以上できるだけ大きく離してください。
また上記空間を確保してもクローゼットなどでうめ込んでの使用はしないでください。
- 除湿性能が悪くなったり、故障の原因になります。

電源(コンセント)について

⚠ 警　告

電源

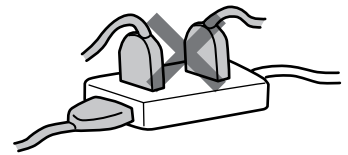
定格15A以上のコンセントを単独で使う。
- 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⚠ 警　告

禁止

交流100V以外では使用しない。
- 火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
- 感電・ショート・発火の原因になります。

- テーブルタップによるタコ足配線は絶対にしないでください。コードや配線器具の過熱の恐れがあります。
- 延長コードは使用しないでください。過熱の恐れがあります。
- コンセントの差し込みがゆるいときは、販売店または電気工事店にご相談のうえ、電気工事をしてください。

アース線の取り付け

⚠ 警　告

アース接続

アース線は必ず取り付ける。
- アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
  アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。

■アース線は必ず取り付けてください。
- 万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもお勧めします。
- アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 設置場所の変更や転居の際には、アースの取り付けを必ず行ってください。

アース線
アース端子
アース線

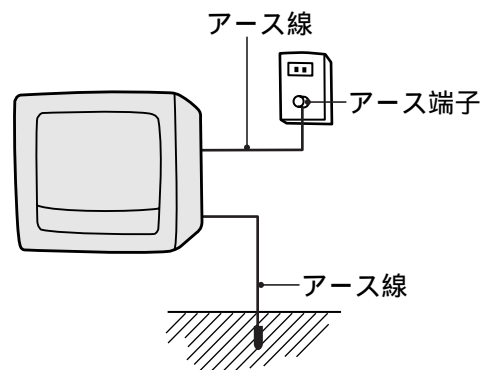
アース端子がある場合

アース線をアース端子に確実に取り付けてください。

アース端子がない場合

アース工事をしてください。
- 電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています。

ご注意

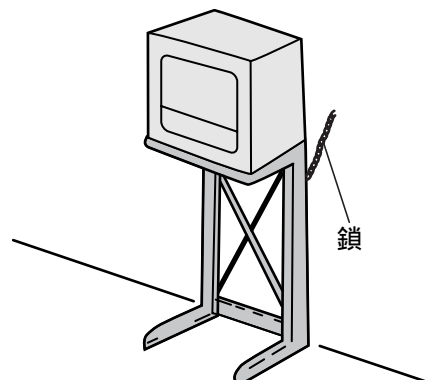
次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。（法令などで禁止）
- ガス管、電話線、避雷針、水栓
  水道管は途中から塩ビ管になっている場合がありますので避けてください。

据え付け(続き)

据え付けかた　別売りのスタンドまたは壁掛金具を使用します。

■スタンドに取り付ける場合

1 後方に倒れないように、必ず壁のすぐ前に設置し、スタンドを付属の鎖で壁などにつなぐ。

2 本体をスタンドに載せたあと、スタンドに付属しているねじで固定する。

(詳しくは、スタンドの組立説明書をご覧ください)

のびのびスタンド(DES-75形など)への設置について

のびのびスタンド(DES-75形など)へ設置する場合のスタンドの上棚の奥行
- DE-N5CXの場合：上棚の側面の刻印4に合わせて固定してください。
- DE-N4CXの場合：上棚の側面の刻印2に合わせて固定してください。

上棚の奥行の調節のしかたは、スタンドの組立説明書をご覧ください。

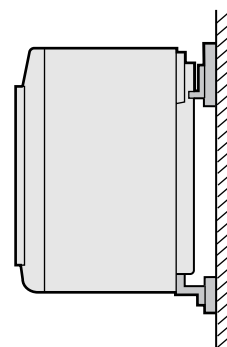
⚠ 注　意

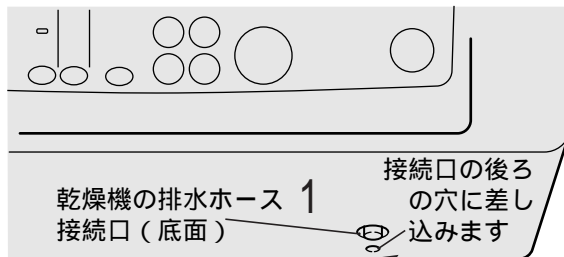
スタンド(ユニット台)に載せて使用の際は、壁のすぐ前に設置し、鎖(スタンド台に付属)にて壁や柱につないで、乾燥機本体はスタンド(ユニット台)にねじで固定する。
また、据え付けた乾燥機にぶら下がらない。
- 本体の落下によりけがをすることがあります。

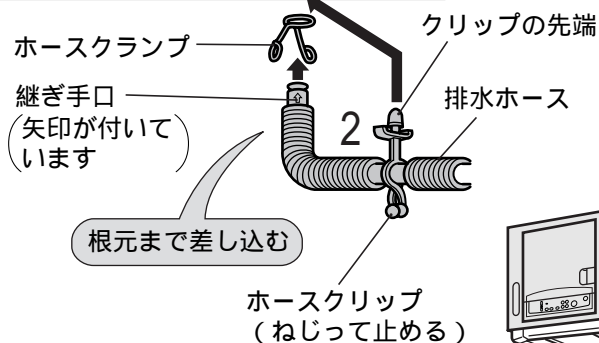
■壁に取り付ける場合

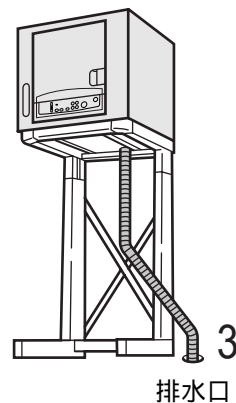
1 壁掛金具DEW-6を使用する。

2 壁が100kg以上の重量に耐えることを確認する。

(詳しくは、壁掛金具の取り付け用説明書をご覧ください)

排水ホースの取り付けかた

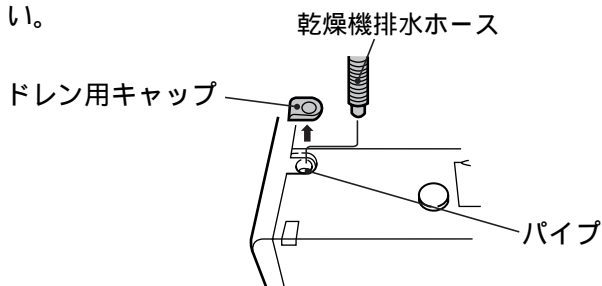
1 **排水ホースの継ぎ手部を、乾燥機の排水ホース接続口の根元まで差し込み、ホースクランプで固定する。**

2 **ホースクリップで排水ホースをはさみ、クリップの先端を本体の穴に差し込む。**

- のびのびスタンド(DES-75形など)に据え付けるときはホースクリップを使用しません。

3 **排水ホースを排水口に差し込む。**

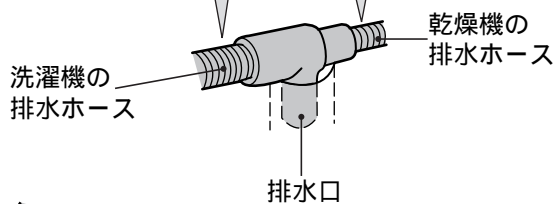
- 排水ホースが長いときは、先端部を切り取ってたるまないようにします。
  途中にたるみがあると排水できず、本体から水漏れすることがあります。

■洗濯機に排水ホースを接続する場合

洗濯機に直接排水ホースが接続できるものもありますので、洗濯機の取扱説明書をご覧ください。

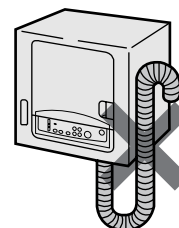
■排水口に洗濯機の排水ホースとともに接続する場合

別売りのL形排水継ぎ手をご使用ください。 ☞48

■排水口がない場合

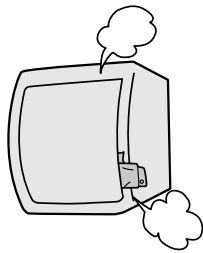
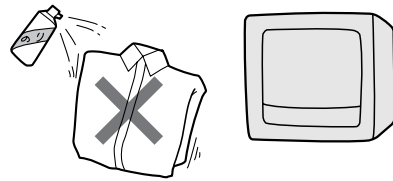
バケツなどに排水してください。

- 5.0kgの洗濯物(生地：木綿)を乾燥した場合、排水量は約2.5L(リットル)です。(DE-N5CX)
- 4.0kgの洗濯物(生地：木綿)を乾燥した場合、排水量は約2L(リットル)です。(DE-N4CX)

排水ホース

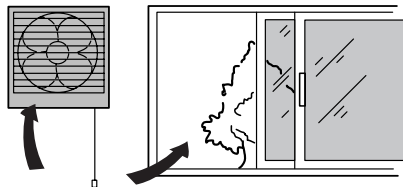
ご注意

- 排水ホースは必ず乾燥機の底面より低い位置に設置してください。
  凍結や機体内部の水漏れを防ぐためです。

使用上のご注意

洗濯物を入れすぎない

● 乾燥時間が長くなったり、乾きむらになることがあります。

のり付けした衣類は乾燥しない

● 洗濯時にのり付けした衣類も乾燥しないでください。
● 糸くずフィルターの目づまりの原因になります。

運転中の換気は十分に

衣類を効率よく乾燥させるために換気を十分にしてください。

● 換気が不十分な場合は、温度差によって窓や壁などが結露する場合があります。

漂白剤などを使用したとき

洗濯時、漂白剤や次亜塩素酸ナトリウムなどの薬剤をご使用になったときは、十分(においが残らない程度)にすすいでから乾燥してください。

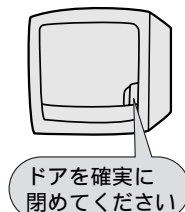
● 洗濯物に漂白剤などが残っているまま乾燥すると、本体の寿命を縮めます。

糸くずフィルターは毎回掃除する

☞38、39

● 糸くずフィルターが目づまりすると、故障の原因になります。

ドアを確実に閉めてから運転する

● ドアが確実に閉まっていないと、衣類が飛び出したり、ドラム内の湿気が漏れて、ドアの裏面や周囲などに結露し、しずくがたれる場合があります。

ズックなどの小物は必ず「ズック」コースを使用してください。

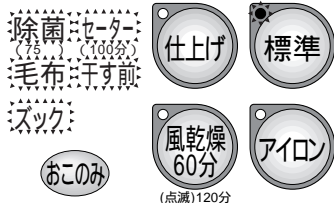
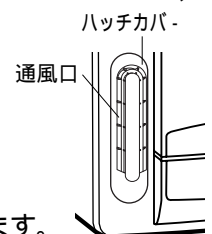
● 「ズック」コース以外でズックや帽子、ぬいぐるみなどの小物を乾燥するとドラムが回転するため、ズックや帽子、ぬいぐるみなどを傷めるばかりでなく、ドラム内部等製品本体を損傷することがありますので絶対に他のコースは使用しないでください。

「ズック」「セーター(100分)」コースでは指定されたもの以外は乾燥しないでください。

● 「ズック」コースでは毛布や衣類などを乾燥しないでください。
● 「セーター(100分)」コースでは毛布や2枚以上の衣類などを乾燥しないでください。
＊ドラム停止の温風乾燥のため毛布や衣類などが変色する場合があります。また乾きむらの原因になります。

操作パネル中央部に磁石、磁気カード（キャッシュカードなど）を近づけない

● 誤動作やカードが使えなくなることがあります。

ハッチカバー通風口にものを入れない

● クリップ、針などの小さいもの、ドライバーなどの細長いものを入れないでください。
節約ハッチの故障の原因になります。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

● 異常が生じたときや異常運転報知があったときは、修理を依頼される前に次の点検をしてください。

症　状	点検するところ
運転しない	● 電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 電源スイッチが「切」になっていませんか。 ● スタートボタンを押しましたか。 ● ドアは確実に閉まっていますか。 ● ドアの磁石部に金属片が付いていませんか。
乾燥時間が長い 乾かないで止まってしまう または異常運転報知をする **異常運転報知** 「おこのみ」コースのランプおよび「標準」か「アイロン」のいずれか一方のランプが点滅してブザーが15秒間鳴ります。 除菌(75℃)　セーター(100分)　毛布　干す前　ズック　おこのみ　仕上げ　標準　風乾燥60分 (点滅)120分　アイロン	● 糸くずフィルターが目づまりしていませんか。 ● 洗濯物の脱水をよくしましたか。 ● 衣類がからんでいませんか。 (洗濯でからんだ衣類をほぐして入れてください) ● 洗濯物が多すぎませんか。(「風乾燥」コースでは容量は1kgです) ● 運転中に洗濯物を追加していませんか。 ● 洗濯物が多いのに「ヒーター」が「弱」になっていませんか。 ● 室温が低くありませんか。(約5℃以下) (室温が低い場合、ヒーター「弱」で運転することがあります) ● 乾燥途中で10分以上停止していませんでしたか。 (異常運転報知をして「おこのみ」コースのランプおよび「アイロン」が点滅した場合)

■故障報知：次のような場合は故障です。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
電源スイッチを入れても、ブザーが3秒間鳴って自動的に切れてしまうとき。
動作中にランプが点滅し、ブザーが15秒間鳴って、電源スイッチが自動的に切れたとき。
(60分間ランプが点滅して電源スイッチが切れるときもあります)

- ヒーターの「強」、「弱」のランプと「アイロン」か「風乾燥」のいずれか一方のランプが点滅
- ヒーターの「強」、「弱」と「標準」のランプが点滅
- 節約ハッチ開のランプが点滅

こんなときは故障ではありません

症　状	原　因
● 運転終了後フィルターの掃除をしたのに電源スイッチを押したらフィルター目づまりサインのランプが点滅しブザーが鳴る。	● フィルターが目づまりしたときは、電源スイッチを押したとき再度報知するようになっています。フィルターが目づまりしていないか再度確認してください。
● ヒーター切換ボタンを押してもランプが切り換わらない。	● コースが「除菌(75℃)」、「毛布」、「ズック」、「セーター(100分)」、「風乾燥」になっていませんか。このときはヒーターは「強、弱、オフ」いずれかに自動的に設定されます。
● 一時停止してヒーター切換ボタンまたはおこのみ（コース切換）ボタンを押しても変更できない。	● 運転をスタートすると変更できません。変更するときは一度電源スイッチを切ってから運転し直してください。
● ドアの内側に水滴が付く。 ● ハッチカバーの表面(温風吹出口)に水滴が付く。	● 衣類の水分が蒸発し付着したためです。
● 運転スタート後しばらくの間、音が大きくなったり小さくなったりする。	● モーターの回転数を調節しているためです。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの衣類乾燥機の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年間保有しています。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「一般ご相談窓口」(☞ 47)の担当地域にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

45ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

項目	内容
品　　名	衣類乾燥機
形　　名	DE-N5CX あるいは DE-N4CX
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

項目	内容
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

安全のための点検のお願い

愛情点検

★長年ご使用の衣類乾燥機の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？	
	●電源プラグが変形したり、電源コードに“ ひび割れ ”や“ 傷 ”がある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●さわるとビリビリと電気を感じる。 ●乾燥時間が異常に長くなった。 ●運転中に異常な音や振動がする。 ●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●焦げ臭い“ におい ”がする。 ●ドラム内がさびている(白さびなど)。 ●据え付けが傾いたり、グラグラしている。 ●水漏れがする。 ●その他の異常があるとき。

●上記の症状や異常がない場合でも2～3年お使いの衣類乾燥機は、安全のため点検をご依頼ください。

一般家庭用以外でご使用になるとき

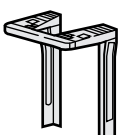
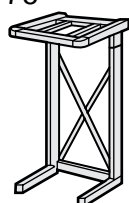
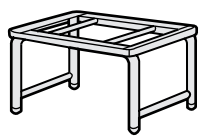
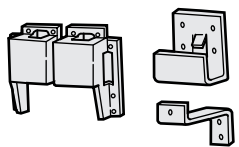
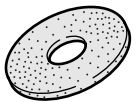
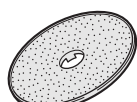
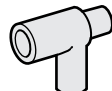
理容院や美容院などでタオルなどの乾燥に、また、寮や病院などで共同でご使用になり、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換(軸受、ベルト、プーリー、フィルターなど)が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてご使用ください。

●このようなご使用は、保証期間の対象外となります。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

一般ご相談窓口　家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センターへ**

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5（日立家電上野ビル）
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55（日立家電守山ビル）
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。価格には消費税は含まれておりません。（価格は2003年5月現在）

■ぴったりスタンド DES-P31

洗濯機の背面に直接取り付けます。

希望小売価格 8,000円(税別)

■のびのびスタンド DES-75

希望小売価格 13,000円(税別)

■床置き用スタンド DES-9

希望小売価格 6,000円(税別)

■壁掛金具 DEW-6

希望小売価格 1,850円(税別)

■静電フィルター DE-F2

微細なほこりや花粉を捕集します。

希望小売価格 1,700円(税別)

■ブラックフィルター DE-N5S6-038

本体に付属のものが破損したときご利用ください。

希望小売価格 500円(税別)

■L形排水継ぎ手 PF-2300-069

1つの排水口に洗濯機の排水ホースとともに接続します。

希望小売価格 600円(税別)

● 上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

形名	DE-N5CX			DE-N4CX		
種類	除湿形回転ドラム式電気衣類乾燥機			除湿形回転ドラム式電気衣類乾燥機		
電源	100V、50-60Hz共用			100V、50-60Hz共用		
標準乾燥容量	5.0kg (乾燥布質量)			4.0kg (乾燥布質量)		
発熱方式	自己温度制御発熱体			自己温度制御発熱体		
外形寸法	幅630mm×奥行506mm×高さ670mm (突出部を除く)			幅630mm×奥行436mm×高さ670mm (突出部を除く)		
消費電力 (W)	室温	強	弱	室温	強	弱
	30℃	1120	650	30℃	1120	650
	20℃	1190	690	20℃	1190	690
	5 ℃	1270	740	5 ℃	1270	740
質量	26kg			25kg		

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　　　　　**電話（　　）　-**

ご購入年月日　平成　　年　　月　　日

日立ホーム＆ライフソリューション株式会社

〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12

電話（03）3502-2111